

〔 横浜市民ギャラリーあざみ野 〕
令和3年度業務報告及び収支予算
〔 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 〕

- ※ 文中の事業欄において、
●：主催事業 ○：共催事業
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
□：定量的指標 ■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリーあざみ野
所在地	青葉区あざみ野南一丁目17番地3
構造・規模	鉄筋鉄骨コンクリート造地上3階・地下1階
敷地・延床面積	敷地面積4,283㎡ 延床面積7,899㎡／専有面積1,975㎡
開館日	平成17年10月29日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル1階
代表者	理事長 近藤誠一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針 ※原則5年間(2020年-2024年)変更なし。

【総合的な方針】

横浜市とのパートナーシップのもと横浜の文化政策を推進していきます。

多様化が進む横浜市北部地域に住む人々の共生社会実現に向け、誰もが社会に参画できる場、担い手として活躍できる場づくり、世代間交流や異文化交流を促し、市民がこの地で暮らす喜びと、活力のある地域作りを目指します。

東京都心等からの交通の利便性が高い好条件を活かし、市の施策でも求められている横浜のプレゼンス向上につながる発信力の高い事業、都心臨海部と連携した賑わいづくりを行います。

コロナウイルス感染症の終息が見えない中、感染症対策に徹底して取り組みます。

1 誰もが文化に触れる機会を提供

- ・当館では、今まで子どもを対象とした事業を多数展開してきており、参加者は増加傾向です。近年は外国人の親子の参加も見られ、より多様な方々への発信が求められています。外国語対

応等、発信方法や発信先、運営方法を工夫し、誰もが参加できる事業を目指します。

- ・福祉団体と連携した事業や障がいがある方と楽しむ鑑賞会等、社会包摂の視点を重視した事業を実施してきたノウハウを活かし、高齢者等を対象とした事業にも着手します。

2 横浜の都市の魅力向上と賑わいづくりへ貢献

- ・開館以来、保存・調査研究に取り組んできた「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション」を、今後も市外との連携を視野に積極的活用します。
- ・市外からの来場者も多くあり高い評価を得ている、現代アートや写真をテーマとした企画展では、アーティストや鑑賞者同士の対話を深めるプログラム等を開催し、理解をより深めていただけるような機会を設けます。
- ・横浜トリエンナーレをはじめとする横浜芸術アクション事業（ダンス、音楽）等の関連事業を実施し、横浜全体の魅力づくり、賑わいづくりに貢献します。

3 地域コミュニティの抱える課題へのアプローチ、地域資源の有機的な関係性づくり

- ・男女共同参画センター横浜北との連携により、女性の社会進出やLGBTQに関わるテーマも取り上げた事業を開催する等、地域や社会の課題に気づく機会をさらに創出していきます。
- ・文化芸術の領域を超えた地域資源紹介や北部地域の文化施設、国際交流拠点、大学、企業等との連携を更に拡大します。
- ・当館の活動を支援する市民ボランティアの世代間交流や文化芸術振興の担い手としての活動の場を充実させていきます。

4 市民の皆さんに親しまれる施設に。安全で快適な施設に

- ・利用者の高齢化等を見据え、利用サポートの新たなメニューを充実させます。

(2) 令和3年度の業務の方針及び達成目標の総括

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を十分に行った上で、状況に応じて柔軟に事業の見直し・企画を行い、第4期指定管理期間に掲げた「6つの使命」の達成に向け事業を展開しました。

「使命1」

誰もが普段着をまとうように、文化芸術がより身近なものとなることで、多様な価値観との出会いが生まれ尊重し合う社会の醸成につながることを目標に、子どもやファミリー向けの事業をはじめ、さまざまな層に向けた事業を継続して開催しました。子ども事業については、感染症対策を徹底して行うことで安心して活動できる場を用意し、予約制による参加人数の制限・道具を共有しない仕組みなどきめ細やかな配慮を行い、参加者の満足度向上につながりました。課題であった高齢者、外国人の方々へのアプローチについては、地域で活動する団体の協力を得て次年度以降に展開ができる土台づくりができました。

施設をもっと知ってもらうために、市民ギャラリーあざみ野単独の施設パンフレットを新たに作成し、建物外のバナーを新たなデザインに更新したほか、「アートフォーラム通りの施設・お店紹介」の動画を作成してYouTubeで公開しました。また感度の高い層にビジュアルに訴える広報が展開できるインスタグラムをスタートさせました。

「使命2」

横浜市所蔵カメラ・写真コレクションを軸に据え、企画展「あざみ野フォト・アニュアル 2022」の開催を中心に横浜の映像文化発信の拠点として継続的な取り組みを行いました。また当館の特色の一つである現代アートへのアプローチについては、企画展「あざみ野コンテンポラリー」において彫刻家の對木裕里さんによる有機的で不思議な形状の作品約 40 点を紹介し、鑑賞者の創造力を楽しく刺激する展示となりました。加えてエントランスで行う「ショーケースギャラリー」では、今年度よりテーマを設定して 3 人の作家に依頼し、それぞれ「カメラ・写真コレクション」「黄金町との連携」「陶芸」に沿って展開することで、当館の特色にフォーカスする展示となりました。

作家やその作品について、より理解を深めてもらうために、作家自身のことばで語り、届けてもらうことは極めて有効です。企画展の関連イベントとしてアーティストトーク、対談を 4 回開催し、作家と作品、そしてアートへの興味と関心を開く機会を提供しました。また、コロナによりインターネットやオンラインによる情報発信が身近になりましたが、当館で展示を行った作家のインタビュー動画はこれまでもウェブ上でアーカイブしており、今年度も企画展およびショーケースギャラリーの作家 5 名のインタビューを、展示風景とともに YouTube で公開中です。

市民向け講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインに則り人数や換気に留意した上で、全講座を予定どおり開講しました。

「使命 3」

文化芸術の力を活かし、地域の課題とともに向き合うという大きな使命に対して、具体的なテーマを見出だしてアプローチすることができた年でした。あざみ野の商店街を中心に活動する認知症患者の支援団体「やさしい街あざみ野実行委員会」にメンバーとして加わって活動をすすめるなかで、当館の強みを発揮できるイベントについて協働をすすめました。さらに参加メンバーとそれぞれの関係性を深め、ともに協力できる事業を模索し、高齢者や認知症の方のアート鑑賞会について、来年度実施に向けた具体的取り組みをスタートさせました。また在住外国人支援団体とつながり、青葉区を中心とする外国人ファミリー向け親子のフリースペースを試行することができたのも成果のひとつです。

「使命 4」

“文化芸術を媒介として、北部地域の公共施設、教育機関、市民団体、企業、自治会といったさまざまな組織や団体がつながり合い、その協働から地域の活力を生み出す”という使命に対し、今年度「よこはま縁むすび講中実行委員会」が立ち上がり、北部 4 区の博物館・文化施設が連携し地域の文化資源を発見・紹介する事業がスタートしました。今まで具体的な接点の少なかった団体同士の間で交流が生まれ、継続的な事業展開と情報交換の機会となりました。

また同じ青葉区内の文化施設であるフィリアホールとの「フェローアートギャラリー エクステンション」による事業連携、みどりアートパークとのピアレビューのための意見交換など、ネットワークが始動した年となりました。

「使命 5」

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として「横浜市文化施設ガイドライン」をベースに、来館者が安心して利用できるよう、スタッフの経験と知見を活かして施設運営を行いました。来館者・利用者の方々に「また来たい」「また使いたい」と思ってもらえるよう、ホスピタリティあるコミュニケーションを心がけ、アンケートに寄せられた意見を運営に活かしました。

「使命 6」

市民の皆さんに安心・安全で快適な場を提供し続けるために、センター横浜北および設備管理会社、警備担当と週一回の定例ミーティングを行い、施設の日常的な環境維持や予防的修繕に活かしました。またスタッフ全員による実践的な防災訓練をはじめ、研修受講による一人ひとりの防災意識を高めるとともに、近隣公共施設と定期的な情報交換により地域全体での防災強化に努めました。

4 業務の取組と達成状況

(1) 事業について

ア 使命1：横浜市北部地域の幅広い属性の方へ、社会的包摂の視点を踏まえ、美術を中心として文化に触れる機会を提供し、豊かな感性を育むとともに、多様な価値観を受け入れる文化の醸成に貢献する。

[取組内容]	[達成指標]	{実施内容と達成状況}
<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者が文化芸術活動に参加し担い手となる取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アンケート及びヒヤリング等による高齢者(65歳以上)に対する文化芸術活動へのニーズ調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ コロナウイルス感染症拡大防止および緊急事態宣言や2回にわたるまん延防止等重点措置の発出により、高齢者層の来館を促進する事業の実施ができなかった。 ■ 若年性認知症介護サービス会社 GrASP や荏田地域ケアプラザの協力により「美術鑑賞会」に向けてヒアリング・ミーティングを実施し、次年度以降に向けた情報収集を行った。
<ul style="list-style-type: none"> ● 在住外国人の方々が来館しやすい仕組みを充実 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 英語ウェブサイトでの情報発信、多言語化検討 ■ 外国人来訪者への多言語対応 ■ 北部地域の国際交流ラウンジや外国人支援活動団体との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 横浜市所蔵カメラ・写真コレクションに関する資料検索の英文ページ公開継続 ■ 外国人来訪者のターゲット設定・多言語化ではなく、「やさしい日本語」導入による対応を検討すべく研修に参加。 ■ 「帰宅困難者一時滞在施設」帰宅困難者受入票を「やさしい日本語」で作成 ■ 多文化共生を目指し外国人親子のサポートを行うNPO 法人 Sharing Careing Culture の協力を受けて外国籍親子に対する広報・来館促進のミーティング開催し事業実施に際しての課題の洗い出し □ 「外国人親子のための特別フリーゾーン」試行 1/16 1回 参加7組20名
<ul style="list-style-type: none"> ● 幅広い市民の 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民のためのプロ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民のためのプログラム開催

<p>皆様の「やってみたい！」を応援</p>	<p>グラム・ワークショップの開催</p> <p>□あざみ野カレッジ「文化芸術部門」年4回開催 ※うち1回を横浜美術館と連携</p>	<p>※詳細は、「イ 使命2」にて記載</p> <p>□あざみ野カレッジ「文化芸術部門」 年5回 年間118名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/6 現代美術探求ラボ VOL.9 27名 「美術を巡る環境が如何に変化したか？」 ・7/24 美術史講座「印象派の女性画家たち メアリー・カサットを中心に」 36名 ・9/11 横浜＜出前＞美術館「イサム・ノグチと神奈川」 31名 ※横浜美術館共催 ・10/16 黄金町連携企画「アーティストのための実践講座 in 黄金町 レジデンスと制作」10名 黄金町エリアマネジメントからのオンライン配信あり ・2/11 「横浜市所蔵カメラ・写真コレクションから見るカメラと写真の歴史」 14名
<p>●アートで子どもの情操や共感能力を育てる</p>	<p>□企画展「あざみ野こどもぎやらりい2021」年1回 展示やワークショップを中心とした、文化芸術イベント</p> <p>□予約制だよ！あざみ野 親子のフリーゾーン（幼児と児童、保護者対象） 月3回（年36回）開催、1回5組（1組5名上限）</p>	<p>□7/30-8/8「あざみ野こどもぎやらりい2021『みんなあつまれ！どうぶつパーク』 1,031名 魚や鳥などのかたちをしたユニークな創作凧「小関凧」の展示や、実際に揚がる凧のワークショップを開催。持ち帰りができるおみやげキット「おうちでつくろう ミニどうぶつ」も用意。</p> <p>□7/31 ワークショップ「凧をつくろう」2回 対象：小学校1～3年生の親子10組20名 小学校4～6年生 9名</p> <p>□7/30-8/8「うめぐみパークでどうぶつをつくろう」 9回開催 40組140名</p> <p>□予約制だよ！親子のフリーゾーン 月3回 計36回開催／1回5組 5名上限 参加者数 178組622名参加</p> <p>□1/16 外国人親子特別フリーゾーン（再掲） 1回／参加者数 7組20名参加 コロナ感染症予防のため予約制を継続、1回の人数を制限し、「道具を共有しない」「テーブルを分ける」「(10月まで)粘土を扱わない」ルールで開催。</p>

<p>●障がいのある方を対象とした事業</p>	<p>□子どものためのプログラム 年8講座以上実施 年中、年長、低学年、高学年を対象としたプログラムを半年に1回ずつ ※地元企業との連携を含む</p> <p>□あざみ野ファミリーワークショップ (新規事業) 家族での共作がメインとなる造形プログラム 年3回</p> <p>□横浜市芸術文化プラットフォームによる学校アウトリーチ 年4校以上実施</p> <p>□親子で造形ピクニック(個別支援学級や特別支援学校に通う親子対象) 月1回(年12回)開催</p>	<p>□子どものためのプログラム 8回開催 5/30「焼き物をつくろう」(年長児親子)10組20名 6/5, 12, 19, 26「油絵を描こう」(高学年)9名(のべ34名) 8/22「ゆらゆら動くふねをつくろう」(低学年)8名 9/19「えのぐであそぼう」(年中児親子)10組20名 11/21「ねんどであそぼう」(年中児親子)9組18名 12/13「木工しよう」(年長児)12名 2/23「真鍮アートに挑戦」(高学年)14名 3/20「お気に入りの一枚を刷ろう」(低学年)9名 ※地元企業・古河電工パワーシステムズ(株)の社員ファミリー向けワークショップは緊急事態宣言中となり中止。</p> <p>□ファミリー向けワークショップ 3回開催 ・5/5「アクアドームをつくろう」(小学生以下ファミリー)17組65名 ・10/24「ペーパーパペットをつくろう」(小学生以下ファミリー)15組54名 ・12/5「クリスマス飾りをつくろう」(小学生以下ファミリー)16組52名</p> <p>□横浜市芸術文化プラットフォーム 4校実施 ・11/12, 15, 16 つつじが丘小学校(5年生2クラス)のべ121名 川崎和美/段ボールアート ・11/24, 25, 12/1 新羽小個別支援級 のべ54名 三ツ山一志/段ボールアート ・12/3, 2, 8 新吉田小(5年生3クラスのべ380名) 山田裕介/リサイクルアート ※資材協力:有限会社かなめ ・1/25, 27, 2/1 藤が丘小学校(5年生3クラス)のべ296名 山田裕介/リサイクルアート ※資材協力:古河電工パワーシステムズ株式会社</p> <p>□親子で造形ピクニック(個別支援学級や特別支援学校に通う親子対象) 参加人数を絞り、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行い開催 年間12回、参加者数:57組172名 4/24、5/8、6/12、7/10、8/7、9/4、10/2、11/6、12/4、1/15、2/12、3/5</p>
-------------------------	--	--

<p>●施設を訪れたすべての方々にアートの息吹を</p>	<p>□造形活動による学校支援 年10回程度実施</p> <p>□アートなピクニックー視覚に障がいがある人とない人が共に楽しむ鑑賞会ー企画展開催時 年1回以上</p> <p>□企画展「あざみ野コンテンポラリー」年1回</p> <p>□企画展「あざみ野フォト・アニュアル」年1回</p> <p>□ショーケースギャラリー</p>	<p>□造形活動による学校支援「アトリエ学校利用」 個別支援学級や特別支援学校の学校単位での造形体験の場としてアトリエを提供。一回の人数を20名以下に絞り新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行い開催した。 年間7校8回開催 参加者数：154名 ※コロナ対応との兼ね合いで2校が利用中止。</p> <p>■青葉区小学校校長会でアトリエ学校利用について事業紹介</p> <p>■令和4年度実施に向け従来の口コミでの応募申込ではなく、より広く学校ポストからの公募に変更</p> <p>■職業体験受け入れ 1/20, 21 神奈川県立麻生養護学校高等部生徒2名</p> <p>□鑑賞者への身体的な接触や近距離での会話が必要な事業のため、コロナ感染症の状況を鑑み、今年度も実施見送り。</p> <p>●企画展は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながら予定どおり開催し、同時代のアーティストの作品を紹介し市民とアートをつなぐことに努めた。 小展示においては、作家インタビューや展示過程の動画配信を合わせて行い、若手アーティストの活動支援と周知を行った。</p> <p>□企画展「あざみ野コンテンポラリーVol.12『對木裕里 ばらばらの速度』」 会期：10/9-10/31 ※詳細は、「イ 使命2」にて記載</p> <p>□企画展「あざみ野フォト・アニュアル2022 中井菜央 雪の刻、コレクション展「視る装置」」 会期：1/27-2/27 ※詳細は、「イ 使命2」にて記載</p> <p>□ショーケースギャラリー（小展示）</p>
------------------------------	--	---

	<p>ラリー（小展示） 若手アーティストの作品 年4回 ・準備段階や作家インタビューを収録し、動画配信 年4本</p> <p>□フェローアートギャラリー（小展示） 障がいのあるアーティストを紹介 年4回 ※他施設へのアウトリーチ展示 年1回以上実施</p> <p>□ロビーコンサート 年10回以上 ※男女共同参画センター横浜北と共催</p>	<p>1F エントランスでの小展示。今年度から当館の特色にフォーカスしたテーマで年3回開催 ・7/10-9/20 アーティスト×横浜市所蔵カメラ写真コレクション 山本愛子 ・9/25-12/12 黄金町エリアマネジメントセンター連携 常木理早 ・1/8-3/20 シリーズ陶の表現 後藤有美 □展示作業のようすとアーティストインタビューの動画を YouTube で配信 3本</p> <p>□フェローアートギャラリー 年4回 (1/27-4/25 澤井玲衣子 前年度事業) ・4/28-7/25 小林太 ・7/28-10/24 神例幸司 ・10/27-1/23 小松和子 ・1/26-4/24 武田佳子</p> <p>□フェローアートギャラリーエクステンション 年1回 11/6-1/24 小松和子の作品3点 青葉区民文化センターフィリアホール通路（無料エリア）で初展示</p> <p>●ロビーコンサート 地域の方々や横浜市民広間演奏会メンバーによる無料の演奏会を開催。 設置席数を40席程度に減らし、ガイドラインに定めたアクティグエリアからの距離確保、演奏者の前にアクリル板を設置し、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて実施。</p> <p>□年10回、来場者数 計1,061名 5/23・6/27・7/25・9/26・10/17・12/19・1/9・2/13・3/13、10/24は特別版としてレクチャールームで開催 ※男女共同参画センター横浜北と共催 ※10/17, 24 横濱ジャズプロムナード連携事業 ※10/24 横浜みなとみらいホール協力</p>
--	--	--

イ 使命2：市内外に向けて、カメラ・写真コレクションを生かした映像分野の拠点となると

ともに、現代のアートの発信拠点となる。また、多様な美術分野への様々なアプローチを用意することで、美術に対する関心を喚起する機会を創出し、北部地域の文化活動人口の増加に貢献する。

<p>[取組内容]</p> <p>●横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの活用</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□企画展「あざみ野フォト・アニュアル」 年1回 横浜市所蔵カメラ・写真コレクション&写真家企画展を実施 ※「使命1」再掲 平均満足度4.6以上</p> <p>□ Gallery in the Lobby (小展示)</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□1/29-2/27 あざみ野フォト・アニュアル2022 ・企画展「中井菜央 雪の刻」 ・横浜市カメラ写真コレクション展「視る装置 19～20世紀のカメラの変遷」 □来場者数：3,112名 □平均満足度：4.73 (5点満点)</p> <p>■企画展は、世界有数の豪雪地帯である新潟県津南町に滞在して撮影する中井菜央による、雪の律する時間がもたらす風景をテーマにした写真展。 ■会期中に発行された同タイトル写真集を会場でも販売。 ■コレクション展は、カメラの歴史をテーマに所蔵品から約150点を選び紹介。各時代の特徴的なカメラや写真資料を通じて、カメラの技術革新の変遷を追った。 ■大佛次郎記念館との広報協力</p> <p>【関連事業】(企画展)</p> <p>□2/19 対談 中井菜央×佐藤雅一(なじょもん学芸員) 26名 □2/27 アーティスト・トーク 中井菜央 30名 聞き手 佐藤直子(担当学芸員)</p> <p>【関連事業】(コレクション展)</p> <p>□2/5 ワークショップ「カメラ・オブスクラをつくらう」 12名 講師：野村浩(美術家) □2/11 あざみ野カレッジ「横浜市所蔵カメラ・写真コレクションから見るカメラと写真の歴史」 14名 講師：井口芳夫(日本カメラ博物館学芸員) □2/6・2/20「コレクション学芸員によるギャラリー・トーク」 計26名 日比谷安希子(担当学芸員)</p> <p>□ Gallery in the Lobby (小展示) 年4回展示</p>
--	--	--

	<p>テーマ別コレクション紹介 年4回</p> <p>□映像関係ワークショップ ・一般対象 年1回 ※「市民のためのプログラム」内で開催 ・子ども対象(教育機関との協働) ※小学校出張写真ワークショップ 年1コース ※横浜市中学校アニメーションフェスティバル 年1回 ※「教師のためのプログラム」年1回(未定)</p> <p>■カメラ・写真コレクション保存・研究・Web公開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5/8-5/30 カメラのしくみ ・10/2-10/24 カメラのルール・デコ ・10/27-11/14 アジアのカメラ ・3/5-3/24 カメラの形のおもちゃ・雑貨 <p>■城西国際大学メディア学部メディア情報学科ニューメディアコースの学生による iPad での説明提供</p> <p>□2/5 ワークショップ「カメラ・オブスクラをつくらう」(再掲) 14名</p> <p>□6/21-7-13 山内小学校出張カメラワークショップ 5年生3クラス のべ369名 6コマ実施</p> <p>□10/21-10/24 展示「自分の思いと写真～横浜市立山内小学校5年生による写真と俳句展」出張ワークショップを実施し、子どもが街に出て撮影した写真に俳句を添えて展示した。入館者362名</p> <p><よこはま縁むすび講中による事業></p> <p>□7/30「教師のためのプログラム」アニメーション・ワークショップ 対面1回 19名、オンライン1回 17名 講師：布山タルト ※横浜市教育委員会と共同主催</p> <p>□1/23 横浜市中学校アニメーションフェスティバル上映会 46名 出品校・生徒数 12校199名 会場：市庁舎アトリウム ※横浜市教育委員会・横浜市立中学校教育研究会美術部会、横浜市立学校総合文化祭実行委員会との共同主催</p> <ul style="list-style-type: none"> ●カメラ・写真コレクション保存・研究・Web公開 ■収蔵作品の状態確認・調査・整備の実施、不正確な目録を調査、補完して修正。 ■データベース整備 随時 ■経常的な作品の状態確認、修復の実施 ■収蔵環境の調査を実施 ■外部からの貸出、熟覧について対応 ■町田市国際版画美術館へ4/24-6/27開催「映える風景を探して」展に当館所蔵品を貸出
--	---	--

<p>●現代アートの発信拠点として</p>	<p>□企画展「あざみ野コンテンポラリー」 ※「使命1」再掲 平均満足度 4.6 以上</p> <p>□ショーケースギャラリー ※「使命1」再掲</p> <p>□アーティストインタビュー（アーカイブ）の活用・発信</p>	<p>□情報誌「アートあざみ野」に「Gallery on the Magazine」としてコレクション紹介の記事連載年3回</p> <p>■東京都写真美術館、日本カメラ博物館、横浜美術館などの専門機関とは日常的に連携し、コレクションの管理等について情報交換</p> <p>■カメラ・写真コレクションの英語版データベースの運営</p> <p>□10/9-10/31「あざみ野コンテンポラリーVol.12「對木裕里 ばらばらの速度」 来場者 1,285 名 平均満足度 4.73（5 点満点） 彫刻家の對木裕里による個展。出点作品約 40 点のうち約半分は新作。有機的で不思議な形状の面白さ、唐突にも感じられる素材の組み合わせ、パステルカラーの彩色といった特徴的な作品群による構成となった。展示空間を存分に生かしたインスタレーションは来場者の創造力を刺激するものとなった。</p> <p>【関連事業】</p> <p>■10/9 アーティストトーク 對木裕里／聞き手：佐藤直子（担当学芸員） 15 名</p> <p>■ワークショップ「石と、石と全然違うもののレリーフ」ファシリテーター：對木裕里 11 名</p> <p>■10/30 対談 對木裕里／森啓輔（千葉市美術館学芸員） 21 名</p> <p>□ショーケースギャラリー（再掲） 1F エントランスでの小展示。今年度から当館の特色に沿った3つのテーマで展開。年3回 ・7/10-9/20 アーティスト×横浜市所蔵カメラ写真コレクション／山本愛子 ・9/25-12/12 黄金町エリアマネジメントセンター連携／常木理早 ・1/8-3/20 シリーズ陶の表現／後藤有美</p> <p>□展示作業のようすやアーティストインタビューの動画を YouTube で公開 3 本（再掲）</p>
-----------------------	--	--

<p>●市民の皆さんが主体となって文化芸術活動に関わる取組</p>	<p>□市民のためのプログラム ※「使命1」再掲</p> <p>美術分野における初級者向けの基礎を習得するワークショップ、中級者向けの技術や表現の向上をアーティスト等から学ぶワークショップを実施</p> <p>年10コース以上 平均満足度4.6以上</p>	<p>□市民のためのプログラム</p> <p>年13コース開催、参加者数：のべ588人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンスタジオ「着衣クロッキー」年間8コース（4・5月は1コース2回、6月以降は4回）のべ330名 ・はじめてのデッサン 1コース 5回のべ75名 ・はじめての透明水彩 1コース 5回のべ68名 ・キャンバスをつくる 1コース 2回のべ23名 ・はじめての油絵 1コース 5回のべ75名 ・器で絵画をつくってみよう（ショーケースギャラリー関連WS） 1コース 2回のべ17名 <p>■さまざまな内容のプログラムを用意し市民の「やってみよう」に応える講座を開催し、毎回応募数が定員を上回り抽選となる人気。</p> <p>■オープンスタジオ「ヌード・クロッキー」については十分な換気について環境の維持が難しくコロナ感染の懸念があるため今年度は実施を見合わせ</p> <p>□平均満足度4.79（5点満点）</p>
-----------------------------------	--	---

ウ 使命3：地域コミュニティが抱える課題に対して文化芸術を通じたアプローチを行うことで、市民の皆さんがこうした課題に気づき、考えを深める契機を創出する。

<p>[取組内容]</p> <p>●文化芸術を媒介として、分野を越えた協働により地域コミュニティの課題に向き合います</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■行政や教育機関、福祉・医療施設、自治会やシニアクラブ、区民利用施設等に対し、文化芸術面からのアプローチを模索し、他の領域と創造性を活かして協働する中から、市民が自ら課題に向き合えるきっかけを作る。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「やさしい街あざみ野実行委員会」メンバーとしての活動の中で、若年性認知症理解のためのイベントへ参加し、施設の周知を図ったほか、キャンドルの展示について設置協力し会場提供した。さらにメンバーである若年性認知症支援団体2団体との美術鑑賞会実施に向けての協議ができた ■山内図書館と連携して、あざみ野フォト・アニュアル2022紹介パネルを同展展示期間にあわせて閲覧コーナーに設置し、回遊を促進。 ■山内図書館「りんごの棚」コーナーにフェローアートギャラリーのちらしと紹介パネルを設置。 ■江田にある慶應義塾横浜初等部にアプローチし、施設の紹介のほか「カメラと写真ワークショップ」事業開催を提案。令和4年度実施に向け具体的に調整。
--	--	--

<p>●市民が自ら課題に気づき考えを深める契機を創出します</p>	<p>□企画展「あざみ野コンテンポラリー」 「あざみ野フォト・アニュアル」出展作家によるアーティストトークや対談及び動画や記録映像のWeb配信 年間2回以上開催</p> <p>□アートなピクニックー視覚に障がいがある人とな い人が共に楽しむ鑑賞会ー ※「使命1」再掲</p> <p>■「予約制だよ！あざみ野 親子のフリーゾーン」参加者への文化芸術参加環境等に関するアンケート調査</p> <p>■各種ワークショップ、講座における参加者への、文化芸術参加環境等に関するアンケート調査</p> <p>■「あざみ野カレッジ」終了後、「生涯学</p>	<p>■慶應義塾横浜初等部美術部より企画展「あざみ野コンテンポラリー」の見学受け入れ。</p> <p>■山内小学校のオンライン施設見学の受け入れ。</p> <p>■フェローアートギャラリーのアウトリーチとして青葉区民文化センターフィリアホール通路にて作品3点の展示が実現。(再掲)</p> <p>□アーティストインタビュー YouTubeで對木裕里氏・中井菜央氏 2本公開</p> <p>□アーティストが自ら作品や制作の背景を語るトークイベントの開催 4回</p> <p>●企画展「あざみ野コンテンポラリー」 ・10/9 アーティストトーク ・10/30 対談</p> <p>●「あざみ野フォト・アニュアル2022」 ・2/19 対談 ・2/26 アーティストトーク</p> <p>□アートなピクニックー視覚に障がいがある人とな い人が共に楽しむ鑑賞会ー ※「使命1」再掲 身体的な接触、近距離での会話が必須の事業であるため、今度の状況をみて開催可否判断としていたが、まん延防止等特別措置の複数回発出により実施を見送った。</p> <p>■対面での聞き取りではなく顧客満足度調査の中で項目を設けて実施</p> <p>■「外国人親子向けフリーゾーン」終了後に、協力団体であるSCCのメンバーに、イベントの内容や運営方法について意見聴取を行い、今後の事業開催の参考となる意見を得た。</p> <p>■顧客満足度調査の中で項目を設けて実施</p> <p>■顧客満足度調査の中で項目を設けて実施</p>
-----------------------------------	---	---

<p>●センター横浜北との連携をさらに充実させます</p>	<p>習」等に関するアンケート調査</p> <p>□アートサポーターワークショップでの協働 年2回以上</p> <p>□フェローアートギャラリー（小展示）障がいのあるアーティストを紹介 年4回 ※他施設へのアウトリーチ展示 年1回以上実施 ※「使命1」再掲</p> <p>□あざみ野フェローマルシェ 障がいのある人たちの手掛けた物品などを発表・販売する場を提供・支援 年4回以上</p> <p>□あざみ野サロン 音楽や大衆芸能分野に留まらず、女性の社会進出やLGBTQに関する知識人による講演会や映画を上映 年1回</p>	<p>■新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としてワークショップの参加人数を制限して実施している状況では実施は困難と判断し、今年度も活動は見送り。募集は随時受付。</p> <p>□フェローアートギャラリー 年4回 ※「使命1」再掲</p> <p>□フェローアートギャラリー・エクステンション ※「使命1」再掲 青葉区民文化センターフィリアホール通路にて開催 1回</p> <p>□あざみ野フェローマルシェ 年5回開催 6/9, 7/31, 10/23・10/24, 11/21 来場者数：4,362名 のべ参加団体数：33団体</p> <p>□あざみ野サロン 2回（自主1回、共催1回） ・VOL.74 10/24 講演会「ジェンダーとアート～私らしさを広げる絵本の世界」 講師：東條知美（絵本コーディネーター）20名 ※センター横浜北企画、会場セミナールーム ・VOL.69 3/20 講演会「マイホームの夢とキッチン-台所は女の城か」（令和1年度事業の延期開催） 講師：田丸理砂（フェリス女学院大学教授）26名 会場：生活工房</p>
-------------------------------	---	---

エ 使命4：文化施設として求められる専門性と、地域施設として求められる役割をふまえ、かつ、地域の様々な資源を有機的に結び付け、地域コミュニティのベースとなる文化的コミュニティの形成に貢献する。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●地域の資源を発掘し、市民とつなぎます</p>	<p>□あざみ野カレッジ「地域資源部門」 地元の地域資源を題材とする講座 年3回</p> <p>□地元大学等連携事業・共同ワークショップ 年1コース</p>	<p>□あざみ野カレッジ「地域資源部門」 地元の地域資源を題材とする講座 年4回開催 計67名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/17 地元オーディオ機器メーカーによる「ハイエンド・オーディオでジャズの黄金時代を聴く」 協力：アキュフェーズ株式会社（青葉区）25名 ・11/13 「青葉区の大山街道を知る①学び編 大山信仰と大山道」 29名 ・11/27 「青葉区の大山街道を知る②散策編 大山街道・荏田宿周辺を歩く」 13名 ・2/11 あざみ野フォト・アニュアル2022 関連「横浜市所蔵カメラ・写真コレクションから見るカメラと写真の歴史」 14名 <p>●新型コロナウイルス感染症拡大の影響があり、連携のあり方検討に留まる。</p>
<p>●地域の様々な担い手とつながる機会を作ります</p>	<p>□あざみ野フェロームルシェ ※「使命3」再掲</p> <p>■アートプラザのお弁当屋さん</p> <p>□アートフォーラムフェスティバル（男女共同参画センター横浜北との共催） 年1回開催</p> <p>■青葉区主催事業への共催（実行委員会参加等） ・あおば美術公募展への協力 7月</p>	<p>□あざみ野フェロームルシェ 年5回開催 6/9, 7/31, 10/23・10/24, 11/21 ※「使命3」再掲</p> <p>□北部地域で主に活動するキッチンカー・お弁当屋さんのアートプラザでの出店 年36回</p> <p>■新規出店者開拓 1店 MonaMona キッチン</p> <p>□10/22, 23 アートフォーラム16th アニバーサリーとして開催 1回 ※男女共同参画センター横浜北と共催 2日間に両館の事業やフェロームルシェを集中して展開し開館記念日のイベント感を醸成</p> <p>□青葉区主催事業への共催 実行委員会参加、会場設営・運営協力を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あおば美術公募展 7月 ・青葉区民芸術祭 12月

<p>●北部地域の文化施設全体が、文化的commonsの形成に貢献できるよう協働します</p> <p>●新たなつながりと活力を生む、「あざみ野河津桜坂文化圏(仮称)」創出</p>	<p>・青葉区民芸術祭への協力 12月</p> <p>□子ども向けワークショップの地元企業との連携 年1回開催 ※再掲：子どものためのプログラム内</p> <p>■東急田園都市線沿線「文化施設」相互ピアレビュー 協定実施に向け3館による検討会議実施(通年) 青葉区民文化センター(フィリアホール)・緑区民文化センター(みどりアートパーク)</p> <p>■文化圏形成に向けた各施設への構想打診及び集合会議の開催(随時)</p>	<p>■神奈川県立麻生養護学校の職業体験受け入れ 生徒2名をアートフォーラムあざみ野として2日間×2回受け入れ(センター北1回・ギャラリー1回)</p> <p>■山内小学校学校運営協議会メンバーとして館長が出席し意見交換</p> <p>□横浜市芸術文化プラットフォームで使用する資材を地元企業の無償提供を受け実施</p> <p>・12/3, 2, 8 新吉田小(5年生3クラス) 山田裕介/リサイクルアート ※資材協力:有限会社かなめ(港北区)</p> <p>・1/25, 27, 2/1 藤が丘小学校(5年生3クラス) 山田裕介/リサイクルアート ※資材協力:古河電工パワーシステムズ株式会社(青葉区)</p> <p>■「相互評価」についてのレクチャーを財団・広報ACYグループ担当者から受けた</p> <p>■みどりアートパークと具体的な進め方について検討・調整をスタート。令和4年度にピアレビュー実施予定。</p> <p>■フィリアホールとピアレビューについて打ち合わせを実施。令和4年度にフィリアホールが一時閉館のため、別の方向性でのお互いの事業への関わりを検討中。</p> <p>■文化庁助成金「令和3年度地域と協働した博物館創造活動支援事業」によるよこはま縁むすび講中実行委員会が立ち上がり、北部4区の文化施設が連携し地域資源の発見・発信に向けて始動した</p> <p>■「山内小学校カメラ・写真ワークショップとその展示」「あざみ野カレッジ 青葉区の大山街道(全2回)」「あざみ野・アートフォーラム通り動画制作」の3事業を展開。</p> <p>■「アートフォーラム通り」動画公開とちらし作成あざみ野駅をはじめ、地区センター、メルセデスベンツあざみ野等近隣の15の施設・店舗を紹介。</p>
---	---	--

		<p>■「アートフォーラム通り」ちらしを各施設・店舗で配架</p> <p>※使命3再掲</p>
--	--	---

オ 使命5：利用者本位の運営を行うとともに、文化施設としての専門性を発揮し、北部地域の市民の皆さんに親しまれる施設となる。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●利用者ニーズの把握</p>	<p>■新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた「新しい施設利用様式」の構築</p> <p>■アンケート</p> <p>展示室：利用終了日まで実施</p> <p>アトリエ：継続的利用団体（年度末）、単発利用団体（都度）</p> <p>イベント来場者：イベント時にアンケート配布・アンケート用紙とWebフォームを併用</p> <p>アンケートデータ：質問項目すべてを集計しスタッフ全員に回覧</p> <p>■意見聴取（ヒヤリング）</p> <p>展示室利用者：利用打合せの際に実施</p> <p>アトリエ利用者：年4回の利用申込み抽選日に実施</p>	<p>■利用者との打ち合わせ時に横浜市文化施設ガイドラインの確認</p> <p>■アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示室：利用終了日までに実施 ・アトリエ：継続的利用団体は年度末、単発利用団体は都度実施 ・イベント来場者：アンケート配布またはQRコードによるWEB上でアンケート回答 <p>■アンケートデータは質問項目を集計しイベント開催から1週間以内にスタッフ全員に回覧して情報共有を図った。</p> <p>■意見聴取（ヒヤリング）</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大対策の一環で、ヒヤリングは未実施。アンケート用紙回答で意見収集に替えた。</p>
<p>●施設貸出の考え方</p>	<p>■公平・公正で透明性の高い施設貸出を実施</p>	<p>■記載のとおり実施</p>

<p>●施設貸出の流れと取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■専門性の高いサポート、ホスピタリティを提供 ■新規貸館利用者の創出に向けたインターネット広報を充実 ■展示室：1週間単位（火曜日～月曜日、平成28年10月に改定、最長2週間まで）で利用を受付 ■空き情報を即時ホームページ（以下HP）上で公開するほか、SNS等で従来利用者以外への情報発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■記載のとおり実施。利用団体の高齢化を考慮し展示および撤収作業について安全な作業への目配りを行った。 ■WEB、SNSを利用し定期的な施設貸出情報を発信 ■施設貸出案内ちらしの新規作成し配架 ■展示室：1週間単位（火曜日～月曜日、平成28年10月に改定、最長2週間まで）で利用を受付 ※利用まで3か月を切る空室については、日単位で貸出を実施。 ■空き情報を即時WEBで公開 ■感染症の状況に配慮し、アトリエの利用抽選会を10月開催分より利用希望者来館による方式から事前希望を聞いて集約、重複案件のみ抽選会実施に変更し、来館や集会する機会を最低限にした。
<p>●利用者へのコミュニケーションとサポート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■専門性に基づいた展示構成アドバイス ■コンシェルジュとして相談に応じる ■利用団体に対しての広報協力 ■物品の預かり アトリエ継続的利用団体への備品保管ボックス貸出 	<ul style="list-style-type: none"> ■記載のとおり実施。 ■記載のとおり実施。初めての利用者には搬入から搬出まで立ち会って対応 ■利用団体に対しての広報協力 <ul style="list-style-type: none"> ・HPへ「展示室・アトリエスケジュール」掲載 ・「ヨコハマ・アートナビ」、「マグカル」等への情報提供 ・利用期間中の展示の様子をHPやSNSで発信 ・情報誌『アートあざみ野』への情報掲載 ・エントランスロビーのラックにチラシの配架 ■アトリエ継続的利用団体への備品保管ボックス貸出を継続実施
<p>●文化施設としての専門性を発揮す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■当団体の人材マネジメント・ポリシー 	<ul style="list-style-type: none"> ■記載どおりに実施

<p>るための人材配置とその育成</p>	<p>を遵守</p> <p>■事業担当と施設運営担当について、当団体の人材をバランスを考え配置</p> <p>■OJT及び各種研修による事業担当職員及び施設運営担当職員の育成（通年）</p>	<p>■記載どおりに実施</p> <p>■記載どおりに実施</p>
----------------------	---	-----------------------------------

カ 使命6：適切な維持管理を行い、法令を遵守することで、安全で快適な施設を維持する。予防的修繕にも着実に取り組む。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●施設管理・環境維持・警備等－共有部分について</p>	<p>□センター横浜北、管理委託会社との「管理合同ミーティング」を月3回以上開催</p> <p>■法令を遵守し、必要な保守点検や測定の実施</p> <p>■全職員による目配りにより、日常的な維持管理に努める。</p>	<p>□センター横浜北・管理委託会社との3者による管理合同ミーティングを毎火曜日に開催</p> <p>■記載のとおり実施</p> <p>■記載のとおり実施</p>
<p>●施設管理－専有施設について</p>	<p>□展示室 展示室壁面の塗装チェック、必要箇所の塗り直し／年1回 展示室可動パネルの保守点検／年1回 展示室可動パネルの消耗品交換、稼働状況のチェック、壁面の補修／随時展示室貸出備品の点検・整備／随時高所作業車保守点検／年1回</p>	<p>□展示室 記載のとおり実施</p> <p>・不具合の発生には随時対応</p> <p>・1/24 壁面塗装</p> <p>■修繕、保守点検を実施</p> <p>・5/29 パッシブインジケータ環境調査</p> <p>・6/28 マンリフト保守点検</p> <p>・2/7 ポルティリフト保守点検</p> <p>・3/1 2F展示室床コンセント絶縁対応工事</p>

<p>●横浜市所蔵カメラ・写真コレクション（収蔵庫）</p>	<p>□アトリエ アトリエ壁面のリタッチ／年1回 貸出附帯設備・音響設備の点検、整備／随時 陶芸用電気窯保守点検／年1回 土練機、パネルソー保守点検／利用状況により2年に1回 □その他（搬入口・荷捌室・作品保管庫等） 衛生設備（新ガス消火設備、連結散水設備等）保守点検／業務の基準の通り 昇降機設備保守点検／業務の基準の通り</p> <p>■収蔵庫内環境の維持 持通年で温度 20°C±2°C、湿度 50%±2%を維持 pH 値を定期的に測定し、結果に応じケミカルフィルター年2回交換 文化財喰害虫生息調査／年8回実施 担当学芸員ほか職員による定期的な清掃／月1回 担当学芸員の立会いのもとに庫内の機器、設備の点検を実施／月1回 収蔵庫担当による日々の庫内点検実施（目視もしくは監視</p>	<p>□アトリエ 記載のとおり実施</p> <p>■修繕、保守点検を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/2 器材室シリンダー錠劣化による交換 ・10/22 パネルソー保守点検 ・3/28 陶芸窯の更新（横浜市負担による） <p>□その他（搬入口・荷捌室・作品保管庫等） 記載のとおり実施</p> <p>□収蔵庫内環境の維持 記載のとおり実施</p> <p>■地震発生時は速やかに状況を確認し横浜市と財団に報告</p> <p>3/10-12 パッシブインジケータによる測定、フィルター交換</p>
--------------------------------	---	---

<p>●維持保全・修繕について</p> <p>●事故防止・防火 防災・保険・感 染症対策等</p>	<p>カメラ)</p> <p>■収蔵庫設備の保守 点検 収蔵庫、展示室空調 設備保守点検／年 1 回</p> <p>■コレクション作品 管理、貸出、熟覧、画 像提供</p> <p>■計画的・予防とし ての修繕 共有部：センター横 浜北および設備管理 会社と連携 専有部：今後必要と なる修繕項目につい て検討し、1件60万 円を超える事案に関 してはモニタリング 等を通じて設置者に 情報共有・相談</p> <p>■緊急を要する修繕 業務の基準に則り速 やかに横浜市、関係 各所へ連絡・報告を 行う。運営に支障が ないことを最優先に 応急処置を取りつ つ、最適な修繕を実 施</p> <p>■怪我や急病：来館 者の怪我、急病や多 目的トイレの緊急呼 出等、異常発生の際 を受け次第、センタ ー横浜北・ギャラリー</p>	<p>□収蔵庫設備の保守点検 実施 記載どおり実施</p> <p>・1/28-3/25 収蔵庫空調設備更新（横浜市による）</p> <p>■4/24-6/27 町田市立国際版画美術館で開催の「映 える風景を探して」へ所蔵品 23 点を貸出（再 掲）</p> <p>■10/23 和歌山県太地町教育委員会へ画像 1 点貸出</p> <p>■記載のとおり実施</p> <p>■共有部・地下 1 階駐車場精算機について 60 万円 を超える事案の修繕となり横浜市と相談・協議の 上、緊急性からアートフォーラムあざみ野負担で 実施</p> <p>■記載のとおり実施</p> <p>■記載のとおり実施</p> <p>■スタッフ全員が救急救命研修受講済み</p>
---	---	---

<p>●災害時対応ー地域に頼られる公共施設として</p>	<p>ーあざみ野の職員 1 名ずつが現場へ急行し対応。救急要請にスムーズに対応できるように、スタッフの研修実施</p> <p>■事故発生時：市を含む関係者に速やかに通報し、必要な対応と原因調査にあたる。</p> <p>■防火防災 センター横浜北、設備管理会社と協働して、アートフォーラム自衛消防隊を組織 センター横浜北との合同防災訓練／年 2 回</p> <p>■保険：センター横浜北と協議の上、適切な施設賠償保険に加入。作品借用や施設外事業、ボランティアに係る保険等については、個別に適正な保険を契約</p> <p>■感染症対策 感染や拡大を防ぐため、マニュアルに基づきスタッフへの対応講習を実施</p> <p>□帰宅困難者一時滞在施設対応訓練／年 1 回</p>	<p>□センター横浜北・西田装美との合同防災訓練実施 10/5、3/15 年 2 回</p> <p>■記載のとおり実施</p> <p>■新型コロナウイルス感染症防止策の徹底、横浜市による対策ガイドラインの遵守</p> <p>■講座・ワークショップ参加費の支払いにキャッシュレス決済（クレジットカード・電子マネー・交通系マネー・ペイペイ）を助成金を得て導入</p> <p>■自動検温器の設置</p> <p>□6/21 山内地区センターでの研修参加 2 名 □3/15 帰宅困難者一時滞在施設対応研修 1 回</p> <p>■帰宅困難者一時滞在施設運営マニュアルの改訂</p>
------------------------------	---	--

<p>●業務計画・報告 および評価</p>	<p>■日常的なネットワークを構築し、地区全体での防災力強化に努める</p> <p>■所管の飲料自動販売機に災害用ベンダーを導入し、災害時に活用</p> <p>■事業計画書・事業報告書の作成・提出</p> <p>■日報・月報の作成、月間業務報告</p> <p>■業務評価（自己評価）を実施</p>	<p>■日常的なネットワークを構築し地区全体での防災力強化に努めた</p> <p>■3/15の避難訓練に青葉区総務課職員が立ち会い、帰宅困難者一時受け入れ施設の運営概要について説明を受け、顔の見える関係を構築</p> <p>■1F飲料自動販売機1台を災害用ベンダーに変更（契約3月、導入令和4年4月）</p> <p>■記載どおりに実施</p>
---------------------------	--	---

2) 施設運営について

ア 施設運営及び組織運営

<p>[目指す成果]</p> <p>●専門職員、管理・運営職員ともに適切な人材を配置</p> <p>●適切かつ効果的な勤務体制を確立</p>	<p>[取組内容及び達成指標]</p> <p>□人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="507 1153 917 1451"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>8人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨時職員</td> <td>3～5人</td> <td>短時間勤務</td> </tr> </tbody> </table> <p>□勤務体制について</p> <p>基本：早番（8:45-17:30）2名 遅番（12:30-21:15もしくは11:00-19:45）2名</p> <p>※全職員によるローテーション制</p> <p>■繁忙に応じて柔軟なシフトを組み、職員のワークライフバランスに合わせた勤務と効率的な運営を両立させ、良質な利用者サービスを提供します。</p>	項目	人数	備考	館長	1人		副館長	1人		職員	8人		臨時職員	3～5人	短時間勤務	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="989 1153 1428 1451"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>8人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨時職員</td> <td>3～5人</td> <td>短時間勤務</td> </tr> </tbody> </table> <p>□勤務体制について</p> <p>基本：早番（8:45-17:30）2名 遅番（12:30-21:15もしくは11:00-19:45）2名</p> <p>※全職員によるローテーション制</p> <p>■記載のとおり実施</p> <p>■育児短時間勤務の職員2名については、在宅勤務を含めた柔軟な勤務環境の構築に努めた。</p> <p>□月平均超勤時間 5.8時間/人</p>	項目	人数	備考	館長	1人		副館長	1人		職員	8人		臨時職員	3～5人	短時間勤務
項目	人数	備考																														
館長	1人																															
副館長	1人																															
職員	8人																															
臨時職員	3～5人	短時間勤務																														
項目	人数	備考																														
館長	1人																															
副館長	1人																															
職員	8人																															
臨時職員	3～5人	短時間勤務																														

●切れ目のない責任体制の維持	■館長・副館長不在時の代行者を明確にし、責任体制を維持します。	■記載のとおり実施
----------------	---------------------------------	-----------

イ 必要人材の配置及び能力担保

<p>[取組内容]</p> <p>●専門職員、管理・運営職員ともに適切な人材を配置</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■館長・事業責任者：当団体や民間で文化事業や施設運営について十分な経験を有し、芸術分野全般への理解があり、マネジメント能力の高いベテラン職員を配置</p> <p>■副館長・管理運営責任者：連絡・調整をはじめとする施設を管理・運営するための基礎的な業務能力を有し、当団体や民間での文化事業や施設運営の経験を有する職員を配置</p> <p>■事業系及びコレクション担当：美術に関する専門教育を修め、学芸員の資格を有する職員または鑑賞・造形教育エドゥケーター、もしくは両者を志望する職員を配置。 ※特にコレクション担当には、写真・映像を専門とする学芸員を配置。</p> <p>■施設運営系担当：当団体が保有する豊富な専門人材の中から、中堅と若手をバランス良く配置。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■記載のとおり配置</p> <p>■記載のとおり配置</p> <p>■記載のとおり配置</p> <p>■11/17 川崎市文化財団主催「パラアート・ミーティング 学芸員さんに学ぼう～アート作品の展示方法～」講師として当館学芸員を派遣</p> <p>■「教育美術」3月号に教師のためのアニメーションワークショップについて『教育委員会と公立文化施設の連携による教育実践』として主任エドゥケーターが寄稿</p> <p>□博物館学芸員実習生受け入れ 1名 (筑波大学)</p> <p>■記載のとおり配置</p>
---	--	---

ウ 横浜市の重要施策を踏まえた対応

<p>[取組内容]</p> <p>●適正な個人情報保護・情報公開</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■横浜市の発信する情報や指定管理者研修会への参加等を通し</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■記載のとおり実施</p>
--------------------------------------	---	-------------------------------------

<p>●人権尊重</p> <p>●環境への配慮</p> <p>●市内中小企業への優先発注</p>	<p>て重要施策を理解し、積極的に協力します。</p> <p>また、当財団のコンプライアンス委員会における議論や情報を共有し、職員のコンプライアンス意識を高めます。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインに沿った感染症予防対策の徹底を図ります。</p> <p>■個人情報 は 規程 及び マニュアル に 基づき 適切 に 取り 扱 います。</p> <p>■すべての人に開かれた施設として公平・公正な施設運営のため、人権尊重の取組みを大切にします。</p> <p>■ゴミを適切に分別し、排出量を抑えます。利用者にはゴミの持ち帰りの原則を徹底し、必要な場合はゴミ袋を有料で販売します。</p> <p>■電気とガスの使用量を前年度並みに抑制します。</p> <p>■物品購入・委託等は、アーティスト指定や市外業者のみが取り扱うものを除き、市内中小業者に発注します。</p>	<p>■記載どおりに実施</p> <p>■記載どおりに実施</p> <p><input type="checkbox"/>横浜市主催人権研修を受講し、館内で情報共有</p> <p>■記載どおりに実施。</p> <p>コロナウイルス感染症予防の観点から利用者にはゴミの持ち帰りの原則を徹底。</p> <p>■電気とガスの使用量を前年度並みに抑制</p> <p><input type="checkbox"/>よこはまフードドライブキャンペーンへの参加 27点・3.3キロ</p> <p>■記載どおりに実施</p>
--	---	---

(3) 管理について

ア カメラ・写真コレクションの適切な収蔵、保管

[取組内容]	[達成指標] ※「使命5」再掲	[実施内容と達成状況]
--------	-----------------	-------------

<p>● 貴重なコレクションを良好な状態で次代に引継ぎ、最大限活用するために、適切な収蔵、保管にあたります。</p>	<p>□ 収蔵庫内環境は、年間通して 温度 20℃±2℃、 湿度 50%±2%</p> <p>■ pH 値を定期的に測定し、結果に応じたケミカルフィルターを設置</p> <p>□ 文化財喰害虫生息調査 年 8 回実施</p> <p>□ 庫内点検、定期的な清掃を実施 月 1 回</p> <p>■ 専門機関と協力・連携</p>	<p>■ 記載どおりに実施</p> <p>■ 記載どおりに実施</p> <p>□ 文化財喰害虫生息調査 年 8 回実施</p> <p>□ 庫内点検、定期的な清掃を実施 月 1 回</p> <p>■ 専門機関と協力・連携</p>
--	--	---

イ 事故防止策・緊急時(防犯)の対応、防災に対する取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>● アートフォーラムでは、全職員（横浜市民ギャラリーあざみ野、センター横浜北、管理委託会社）が、日常的に危険箇所や不審者等を早期に発見し、対処します。</p>	<p>■ これまで蓄積してきた各種マニュアルを常に見直し、新たな危機の想定など、必要に応じた更新・改訂をしていきます。</p>	<p>■ 記載どおりに実施</p>
<p>● 緊急時には「利用者の安全第一」と「迅速さ」を基本方針として対応します。</p>	<p>■ 安全管理マニュアルを見直し、必要に応じて更新します。</p>	<p>■ 記載どおりに実施</p> <p>■ 帰宅困難者一時滞在施設受け入れマニュアルを改訂</p>
<p>● 防災の取組みとして、自館の防災はもちろん近隣の防災拠点としての役割も担います。</p>	<p>■ 常に全職員がマニュアルを理解するように定期的確認行動を図り、危機の際には「アートフォーラムあざみ野」全職員が一致して対応します。</p> <p>□ センター横浜北との合同防災訓練 年 2 回</p> <p>□ 帰宅困難者一時滞在施設対応訓練 年 1 回</p>	<p>■ 記載どおりに実施</p> <p>□ センター横浜北との合同防災訓練 年 2 回（再掲）</p> <p>□ 帰宅困難者一時滞在施設対応訓練 年 1 回（再掲）</p>

5 収支について

(1) 利用料金設定及び割引、減免の考え方

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●展示室・アトリエとともに、現在の利用区分(単位)・料金が定着しているため、従来の設定を踏襲します。</p> <p>●割引、減免制度については、横浜市民ギャラリー条例・同施行規則に従って運用します。</p>	<p>■従来の料金体系に沿った利用料金設定を継続</p> <p>□横浜市主催事業：50%減免</p> <p>□横浜市共催もしくは実行委員会に参加する事業：30%減免</p> <p>□ギャラリーあざみ野共催及び協力事業：主催者との協議により30~100%減免</p> <p>■アトリエ利用における、夜間割引や学生割引の導入</p>	<p>■従来の料金体系に沿った利用料金設定を継続</p> <p>□横浜市主催事業：50%減免</p> <p>□横浜市共催もしくは実行委員会に参加する事業：30%減免</p> <p>□ギャラリーあざみ野共催及び協力事業：主催者との協議により30~100%減免</p> <p>■アトリエ利用における、夜間割引や学生割引の継続</p>

(2) 指定管理料のみに依存しない収入構造

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●自主事業の一部については、指定管理料を充当せずに行います。</p> <p>●利用料金収入を安定的に確保します。</p> <p>●助成金・協賛金、現物協賛の獲得を目指します。</p>	<p>□収支ゼロ若しくは黒字で行う自主事業 年間50万円以上</p> <p>□今年度の数値設定は困難(状況下における最大を目指す)」</p> <p>□助成金を3件以上申請。協賛金・広告料とあわせて外部資金を獲得 年間50万円以上</p>	<p>□市民のアトリエ事業 収支プラス</p> <p>□利用料金収入(施設・駐車場等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用料 6,664,610円 ・駐車場利用料および自動販売機手数料収入 3,498,550円 <p>□事業に対する助成金3件採択(申請4件)</p> <p>□寄付金1件</p> <ul style="list-style-type: none"> 計3,650,000円 ARTS for the future! 野村財団 朝日新聞文化財団 寄付金(風越建設) <p>□その他の助成金 2件(申請2件)</p>

		文化庁「文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業」助成金 計 91,000 円 <input type="checkbox"/> 情報誌「アートあざみ野」広告掲載料収入 2件 90,000 円
--	--	--

(3) 経費削減等効率的運営の努力

[取組内容] ○経費削減、効率的運営を行います。	[達成指標] ■センター横浜北とも協力し、施設管理にかかる委託費を前年度並みに抑制	[実施内容と達成状況] ■記載のとおり実施
-----------------------------	--	--------------------------

6 PDCA サイクルの確実な運用

[取組内容] ●PDCA サイクルの基本指標となる日報、月報の作成・管理を確実にを行います。 ●事業計画書・事業報告書の作成・管理を行います。 ●業務評価を実施します。	[達成指標] ■業務日報の作成 毎日 <input type="checkbox"/> 管理運営月報・完了確認書を作成し、モニタリングにおいて報告 月1回 ■事業計画書・事業報告書の作成 1回 ■事業計画に沿って成果が見える報告書を作成 ■自己評価(仮決算含む) 年2回	[実施内容と達成状況] <input type="checkbox"/> 業務日報の作成 毎日 <input type="checkbox"/> 管理運営月報・完了確認書を作成し、モニタリングにおいて報告 月1回 <input type="checkbox"/> 事業計画書・事業報告書の作成 各1回 ■完了確認表(自己評価表)により事業報告書を補完 <input type="checkbox"/> 自己評価(仮決算含む) 年2回
---	--	---

7 その他

[取組内容] ●市民の生命と安全を守ることを第一義として、適切な保険に加入し、万に備えます。 ●関係法令を順守し、	[達成指標] ※「使命5」再掲 ■施設賠償保険は館内すべてを対象とするため、アートフォーラムあざみ野としてセンター横浜北が契約し費用については応分負担します。 ■作品借用や施設外事業、ボランティアに係る保険契約については、個別に契約し、賠償請求について対応します。 ■現行の関係法令を順守する	[実施内容と達成状況] ■記載のとおり実施 ■記載のとおり実施 ■記載のとおり実施
---	---	--

<p>公的機関としての役割を果たします。</p> <p>●よりよい市民サービスの提供を目指し、市及び関係機関との連絡調整を行います。</p>	<p>とともに、法令改正に気を配り、契約等の前に確認を行います。</p> <p>■事故や不具合時は即日報告とし、随時共有します。</p>	<p>■記載のとおり対応</p>
--	--	------------------

令和3年度 「横浜市民ギャラリーあざみ野」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	157,874,550		157,874,550	157,874,550	0	横浜市より (R3年度賃金スライド分を含む)
利用料金収入	6,600,000		6,600,000	6,664,610	△ 64,610	展示室・アトリ利用料金
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	0		0	0	0	
自主事業収入	5,734,000		5,734,000	6,722,276	△ 988,276	まん延防止措置等に沿った講座料・入場料で算定
入場料・講座料・その他事業				2,891,276		講座料・入場料+教育プラットフォーム事業負担金収入
助成金・協賛金等収入				3,831,000		文化庁、野村財団、朝日新聞文化財団、風越建設(株)、アートあざみ野広
雑入	3,756,000	0	3,756,000	4,190,925	△ 434,925	
物販等手数料	18,000		18,000	16,500	1,500	出店業者手数料
自動販売機手数料	618,000		618,000	527,229	90,771	
駐車場利用料収入	2,960,000		2,960,000	3,498,550	△ 538,550	収入をセンター北と折半
その他 (センター北負担金等)	160,000		160,000	148,646	11,354	センター北と共用の事務機器等管理、Wi-Fi、大型プリンタ関連の按分経費 他
収入合計	173,964,550	0	173,964,550	175,452,361	△ 1,487,811	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	76,090,550	0	76,090,550	76,258,727	△ 168,177	
給与・賞金	64,301,550		64,301,550	63,762,230	539,320	職員 (10名)、常勤アルバイト1名、企画展短期アルバイト分
社会保険料	7,744,000		7,744,000	8,464,852	△ 720,852	
通勤手当	1,435,000		1,435,000	1,254,630	180,370	
健康診断費	111,000		111,000	76,750	34,250	
勤労者福祉共済掛金	0		0	16,000	△ 16,000	
退職給付引当金繰入額	2,499,000		2,499,000	2,684,265	△ 185,265	
事務費	3,507,000	0	3,507,000	5,498,841	△ 1,991,841	
旅費	100,000		100,000	36,874	63,126	日常業務にかかる旅費交通費
消耗品費	380,000		380,000	693,783	△ 313,783	感染防止対策用品 (消毒液、パネーション等)、新聞雑誌定期購読料、
会議ठी費	0		0	0	0	
印刷製本費	180,000		180,000	54,230	125,770	名刺、封筒等印刷費
広報宣伝費	0		0	1,459,588	△ 1,459,588	屋外バナー作成 (デザイン委託含む)、ウェブサイトリニューアル、施設リーフレット作成
通信費	605,000		605,000	609,065	△ 4,065	電話代、郵便、宅急便等
使用料及び賃借料	1,423,000	0	1,423,000	1,293,474	129,526	
横浜市への支払分	125,000		125,000	126,588	△ 1,588	行政目的外使用料 (飲料自販機、アートプラザのお弁当やさん事
その他	1,298,000		1,298,000	1,166,886	131,114	PC・プリンター・AED等リース、放送受信料、足ふきマットの外、セキセイワト・ドメイン等使用料 等
備品購入費	300,000		300,000	721,783	△ 421,783	展示室受付用チェア、展示室用移動式踏み台、スクリーン式自動換温器、キャッシュ決済専用端末、シュレッダー 等
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	81,000		81,000	82,195	△ 1,195	R3年度 施設賠償保険 (センター北と折半) 等
職員等研修費	0		0	6,000	△ 6,000	横浜市消防局予防課 防火防災管理新規講習受講料
振込手数料	220,000		220,000	213,290	6,710	
リース料	0		0	0	0	300万以上のリース物件に使用
手数料	208,000		208,000	326,140	△ 118,140	産業廃棄物処理、インターネットバンク、アトリ備品のクリーニング等。
地域協力費	0		0	0	0	
その他 (雑支出等)	10,000		10,000	2,419	7,581	
事業費	23,165,000	0	23,165,000	21,431,402	1,733,598	
自主事業費	23,165,000		23,165,000	21,431,402	1,733,598	まん延防止等措置に沿った事業規模縮小や運営方法の変更あり
管理費	57,798,000	0	57,798,000	58,790,775	△ 992,775	
光熱水費	13,500,000	0	13,500,000	14,177,260	△ 677,260	
電気料金	9,200,000		9,200,000	8,073,840	1,126,160	
ガス料金	3,000,000		3,000,000	4,483,929	△ 1,483,929	
水道料金	1,300,000		1,300,000	1,619,491	△ 319,491	
清掃費	0		0	0	0	建物総合管理契約に含むため「その他保全費」に計上
修繕費	2,000,000		2,000,000	3,346,845	△ 1,346,845	屋内消化ポンプ呼水槽交換、展示室2床コンセント交換工事、エントランス階段手摺強化硝子修理、駐車場精算機更新工事、高圧引込端
機械整備費	174,900		174,900	174,900	0	
設備保全費	42,123,100	0	42,123,100	41,091,770	1,031,330	共用部(センター北が契約し費用は折半
空調衛生設備保守	2,305,050		2,305,050	2,335,300	△ 30,250	自然換気スウィングドア、給水排水設備 膨張タンク 他
消防設備保守	544,500		544,500	519,750	24,750	消防用設備
電気設備保守	958,100		958,100	958,100	0	非常用発電設備、受変電設備、非常用発電設備
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	共用部：建物総合管理契約に含む、専有部：事業費に含む
駐車場設備保全費	547,800		547,800	462,000	85,800	
その他保全費	37,767,650		37,767,650	36,816,620	951,030	清掃費を含む
共益費	0		0	0	0	
公租公課	6,524,000	0	6,524,000	6,684,122	△ 160,122	
事業所税	57,000		57,000	0	57,000	
消費税	6,407,000		6,407,000	6,613,100	△ 206,100	財団事務局試算による
印紙税	60,000		60,000	14,300	45,700	
その他 (法人税)	0		0	56,722	△ 56,722	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	6,880,000	0	6,880,000	6,880,000	0	
本部分	6,880,000		6,880,000	6,880,000	0	
当該施設分				0	0	
支出合計	173,964,550	0	173,964,550	175,543,867	△ 1,579,317	
差引	0	0	0	△ 91,506	91,506	